

取扱説明書

液化石油ガス容器用取入取出弁

LP-110CN



株式会社 宮入バルブ製作所
MIYAIRI VALVE MFG. CO., LTD.

目 次

	ページ
1. 概 要	 2
2. 製品名	 2
3. 使用範囲	 2
4. 構造と特徴	 3
5. 運搬及び保管	 3
6. 配管要領	 3
7. 使用上の注意	 3
8. 点検及び保守	 4
9. アフターサービス	 4
10. 構造図	 5

はじめに

この度は、宮入バルブの製品をご採用いただきましてまことにありがとうございます。

ご使用に際しては、本取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解されたうえで本機器をご使用くださいますようお願いいたします。また、必要に応じて利用できるよう、お読みになった後も手元に置かれることをお勧めいたします。

1 概 要

このバルブは、液化石油ガス容器用として製作されております。

2 製品名

(1) 品名		液化石油ガス容器用取入取出弁
(2) 型式		LP-110CN
(3) サイズ		φ12
(4) 図面番号		B-17268

3 使用範囲

取付け前に、必ず次の仕様を確認の上ご使用下さい。

(1) 使用流体		液化石油ガス(液)
(2) 耐圧試験圧力		3.5MPa
(3) 気密試験圧力		2.10MPa
(4) 接続仕様		
① 容器側:	Rc1・1/4	
② 下流側:	W22.5 山 14 左 / TW44 山 6	
(5) 本体材質		C3771B
(6) 過流出防止弁閉止流量		70L/min(プロパン(液))

注意

これは標準仕様です。使用機器が本仕様と異なる場合は、ご注文制約時の図面に記載されている仕様および製品の検査成績表の内容と照合し、仕様の範囲内であることを確認した上でご使用ください。

4 構造と特長

- (1) フローティング式ボールバルブです。
- (2) シートリングは、気密性、耐久性ともバランスのよい充填材入 PTFE(四弗化エチレン樹脂)で製作されております。
- (3) ハンドルが全閉の位置でロックされる機構を有していますので、誤操作を防止できます。
- (4) グランド部は O-リングを二重にし、外部への漏れを防止しております。
- (5) バルブの開閉は、ハンドルを 90 度回転するだけで迅速かつスムーズに操作できます。
- (6) ステムはボディ内部から挿入していますので、内圧によるステムの飛び出しを防止できます。
- (7) バルブの開閉状態は、ハンドルの方向が配管に対して平行の時は開、直角のときは閉となります。
- (8) 過流出防止機構を内蔵しているため、バルブの出口側の配管が破損した際にガスの漏洩を遮断することが出来ます。
- (9) バルブを急開しますと、バルブに内蔵された過流出防止機構が作動して、ガスが流れない場合がありますので、急開は避け、ゆっくり開けてください。万が一ガスが流れない場合には、一旦バルブを閉めた後、再度ゆっくりと開けてください。

5 運搬および保管

- (1) バルブを落とす、倒す、投げる、引きずる等の乱暴な取り扱いで、強い衝撃を与えないで下さい。漏れ、故障の原因となります。
- (2) 運搬及び保管は、荷姿のままで、ゴミ、ほこり、雨等がかからないようにして下さい。

6 配管要領

- (1) 取付けの際は、容器及び配管内の切粉、溶接スパッタ、スケール等を充分清掃して下さい。
- (2) ネジ部には適正なシール剤を塗布し、漏れのないように適正なトルクで締め付けてください。また、締め付けにはパイプレンチは使用しないでください。
- (3) 配管のずれなどにより、バルブに異常な応力が加わらないようにして下さい。

7 使用上の注意

- (1) シートの寿命は、使用条件が高温、高圧およびハンドル開閉が多いほど短くなります。
- (2) ボールバルブは、原則として全開または全閉で使用して下さい。中間開度で使用しますと、シートが変形しシート漏れを生じることがあります。
- (3) 高流速の液体ラインで開閉回数が多い場合、また、流量調整などの目的で使用する場合は、シートが変形し漏れを生じることがあります。
- (4) バルブ内及び配管内で液封による異常昇圧現象が考えられる場合は、液封防止用ボールバルブをご使用ください。
- (5) バルブを閉じたときには、ハンドルが確実にロックされていることを確認してください。

8 点検及び保守

設備の運転開始時、運転終了時、および運転中に以下のような点検を行なって下さい。

- (1) グランド部からの漏れは無い。漏れがあった場合は、本体ごと交換してください。
- (2) ハンドル操作がスムーズでないときは、シートの変形、摩耗が予想されますので、本体ごと交換して下さい。

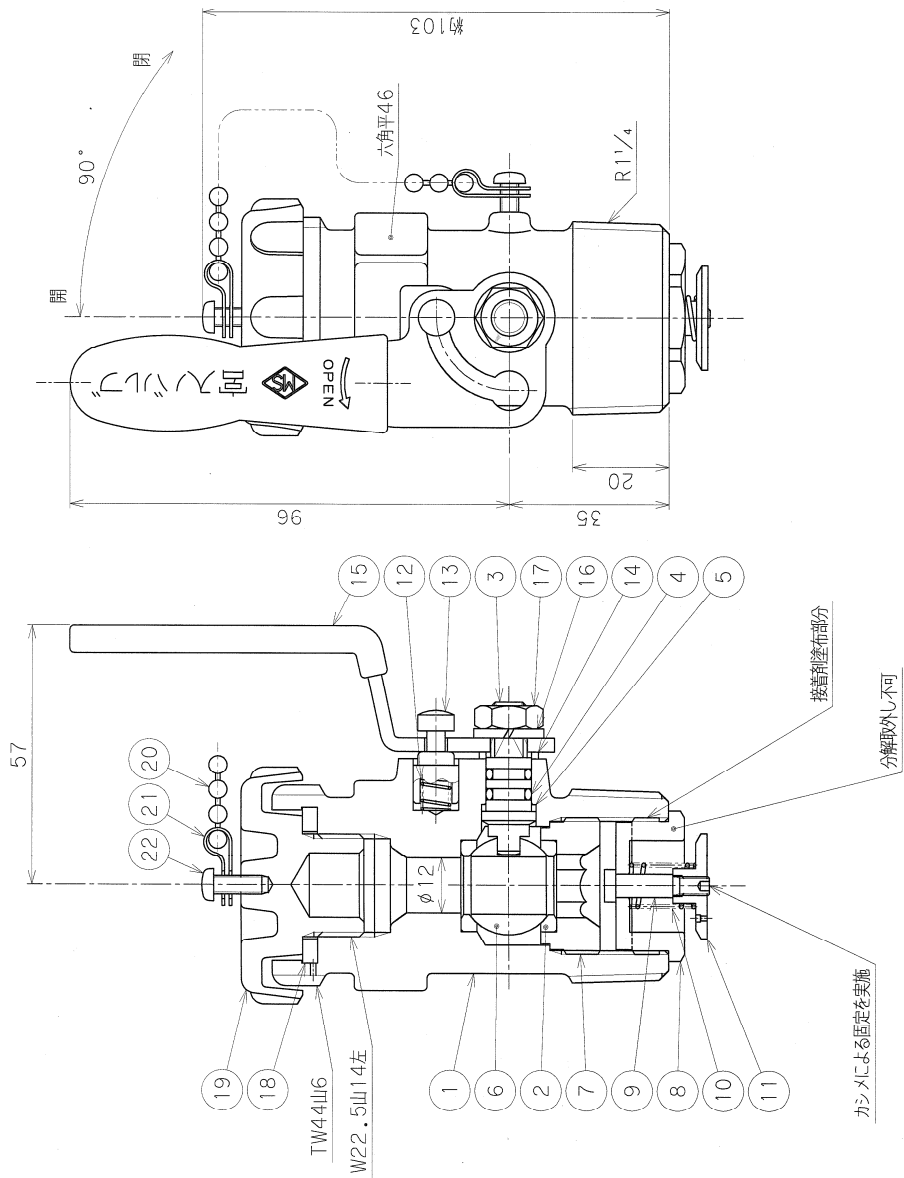
その他、高圧ガス保安法の管轄下で使用されるバルブは、法規上の規定に基づき検査を実施して下さい。

9 アフターサービスについて

- (1) 製品に異常が生じた場合
- (2) 製品の修理が必要な場合
- (3) 交換部品が必要な場合

上記のご相談は、宮入バルブ製作所各営業所へお問い合わせ下さい。
※型式・サイズ・図面番号等をお知らせ下さい。

10 構造図



No.	PART NAME	MATERIAL	QTY.	REMARKS
22	タッピンネジ	SUS304	2	
21	クリップ	C2600P	2	
20	チエーン	C3604B	1SET	
19	キャップ	C3771B	1	
18	パッキン	NBR	1	
17	ナット	SUS304	1	
16	スプリングワッシャ	SUS304	1	
15	バンドル	SUS304	1	
14	スラストリング	PTFE	1	
13	スットパ	C3604B	1	
12	スプリング	SUS304	1	
11	チェックプレート	C3604B	1	
10	スプリング	SUS304	1	
9	ロッド	SUS304	1	
8	リテーナ	C3604B	1	
7	インサート	C3604B	1	
6	ボール	C3604B	1	
5	スラストパッキン	R/PTFE	1	
4	O-リング	NBR	2	
3	ステム	C3604B	1	
2	シート	R/PTFE	2	
1	ボディ	C3771B	1	
SUBJECT 液化石油ガス容器用取入取出弁 LP-110CN				

本製品についてのご質問、及び定期点検のご相談、ご依頼は下記の営業所までご連絡ください。



本 社	〒104-0061	東京都中央区銀座西 1-2	(TEL) 03-3535-5575	(Fax) 03-3567-6834
甲 府 工 場	〒400-0206	山梨県南アルプス市六科 1588	(TEL) 055-285-0111	(Fax) 055-285-7175
札幌営業所	(TEL) 011-786-1110	(Fax) 011-786-1120	名古屋営業所	(TEL) 052-951-3860 (Fax) 052-951-3862
仙台営業所	(TEL) 022-295-4670	(Fax) 022-295-4671	大阪営業所	(TEL) 06-6541-8711 (Fax) 06-6541-8718
東京営業所	(TEL) 03-3535-5571	(Fax) 03-3567-6834	九州営業所	(TEL) 093-921-0981 (Fax) 093-921-0984